

基本構想・第一部（前半）の  
各Q Aに関する詳細説明資料

# #ターニングポイント ↻ #再生フェーズ ↻

河内長野は、昭和後期にいくつもの団地が開発され、たくさんの方が、自然を求めて引っ越してきました。当時、河内長野に引っ越してきた人たちは、河内長野の“暮らしやすさ”が好きになり、多くの方が生涯にわたり住み続けています。

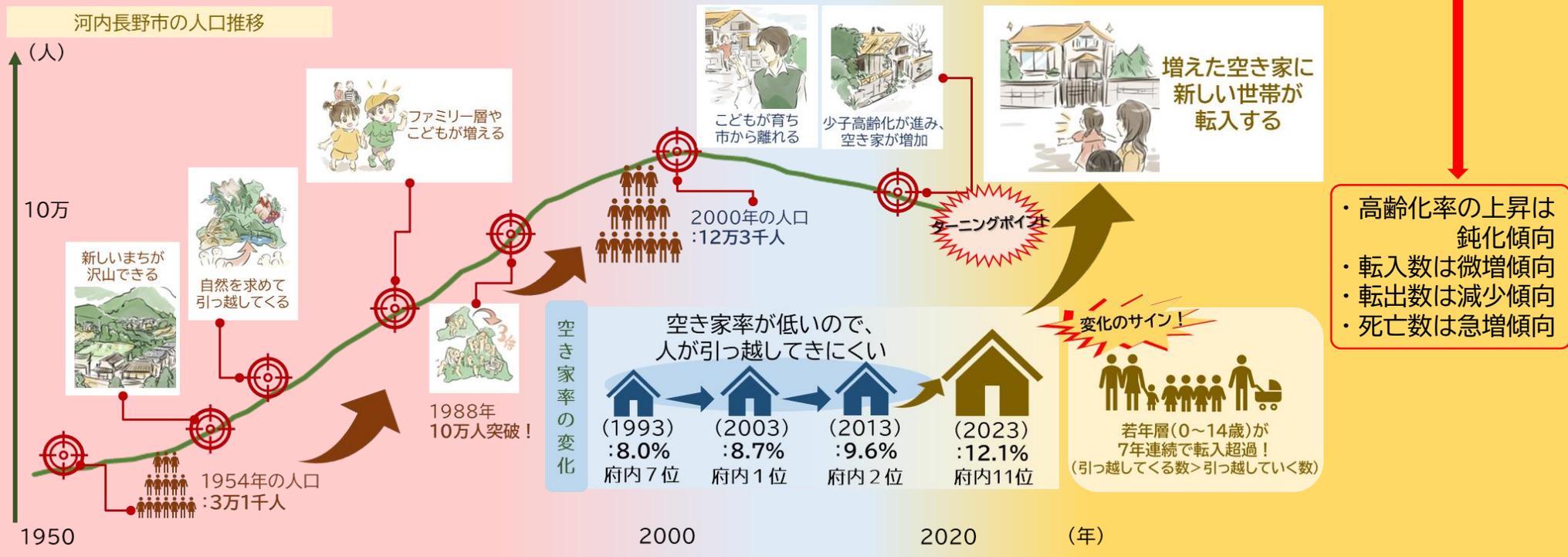
開発団地で育った子ども世代が大人になり、独立していく中で、人口の大幅な流出が続いた時期がありました。

長く住み続けて寿命を迎えた方が増え、空き家が出てきた中に、新しくファミリー世帯が入っています。最近では、14歳以下の子どもは、出ていく人よりも入ってくる人が多い状態が続いています。人口のバランスが変わり始めるターニングポイントを迎えています。

人口増加フェーズ

人口減少フェーズ

再生フェーズ



# # 空き家率の変化

これまで河内長野の空き家率は、大阪府内の他市に比べてかなり低く、ほとんど空き家がありませんでした。しかし、高齢化が進んで空き家は増え、空き家がそのまま残るのではなく、空き家となったところに若い世帯が引っ越してくる動きが見られます。

## 他市との比較 ※町村を除く。

2003年は、大阪府内で最も空き家が少なく、河内長野に転入したい人も場所がない状態でした。しかし、少しずつ空き家が増えてきて、近年では若い世帯の転入が見られるようになってきています。

(2003年)

順位	大阪府全市	空き家率 (%)
1	河内長野市	8.7
2	和泉市	9.3
3	泉南市	9.7
4	高槻市	9.8
5	松原市	10.5
6	交野市	10.5
7	箕面市	10.6
8	富田林市	10.7
9	茨木市	11.4
10	池田市	11.4
11	吹田市	11.6
12	大阪狭山市	11.8
13	泉大津市	12.4
14	柏原市	12.5
15	岸和田市	12.6
16	大東市	12.6
17	枚方市	12.8
18	阪南市	13.1
19	羽曳野市	13.1
20	泉佐野市	13.2
21	貝塚市	13.3
22	摂津市	13.4
23	堺市	13.6
24	八尾市	13.7
25	豊中市	14.1
26	守口市	14.5
27	高石市	15.3
28	藤井寺市	15.5
29	寝屋川市	15.8
30	門真市	16.4
31	東大阪市	16.5
32	四條畷市	16.9
33	大阪市	17.5

(2013年)

順位	大阪府全市	空き家率 (%)
1	交野市	9.0
2	河内長野市	9.6
3	茨木市	9.7
4	高槻市	10.0
5	和泉市	10.3
6	枚方市	11.6
7	泉南市	12.2
8	大東市	12.6
9	富田林市	12.9
10	堺市	13.3
11	池田市	13.7
12	摂津市	13.8
13	寝屋川市	13.8
14	大阪狭山市	13.9
15	藤井寺市	13.9
16	柏原市	13.9
17	羽曳野市	14.0
18	泉大津市	14.1
19	岸和田市	14.3
20	吹田市	14.3
21	豊中市	14.3
22	阪南市	14.4
23	松原市	14.4
24	貝塚市	14.7
25	高石市	14.7
26	八尾市	14.8
27	泉佐野市	15.1
28	箕面市	15.4
29	守口市	15.6
30	東大阪市	16.3
31	大阪市	17.2
32	門真市	17.4
33	四條畷市	18.1

(2023年)

順位	大阪府全市	空き家率 (%)
1	茨木市	9.1
2	高槻市	9.6
3	交野市	11.0
4	摂津市	11.4
5	和泉市	11.4
6	枚方市	11.4
7	箕面市	11.7
8	大阪狭山市	12.0
9	吹田市	12.0
10	高石市	12.0
11	河内長野市	12.1
12	泉佐野市	12.3
13	堺市	12.9
14	池田市	12.9
15	富田林市	13.0
16	寝屋川市	13.3
17	松原市	13.4
18	泉南市	13.5
19	豊中市	13.7
20	岸和田市	13.8
21	八尾市	13.9
22	泉大津市	14.0
23	藤井寺市	14.4
24	羽曳野市	14.5
25	貝塚市	14.8
26	大東市	14.9
27	阪南市	15.2
28	四條畷市	15.5
29	大阪市	16.1
30	東大阪市	16.3
31	門真市	17.0
32	守口市	17.1
33	柏原市	20.8

## 河内長野の状況

【空き家数・空き家率の推移】



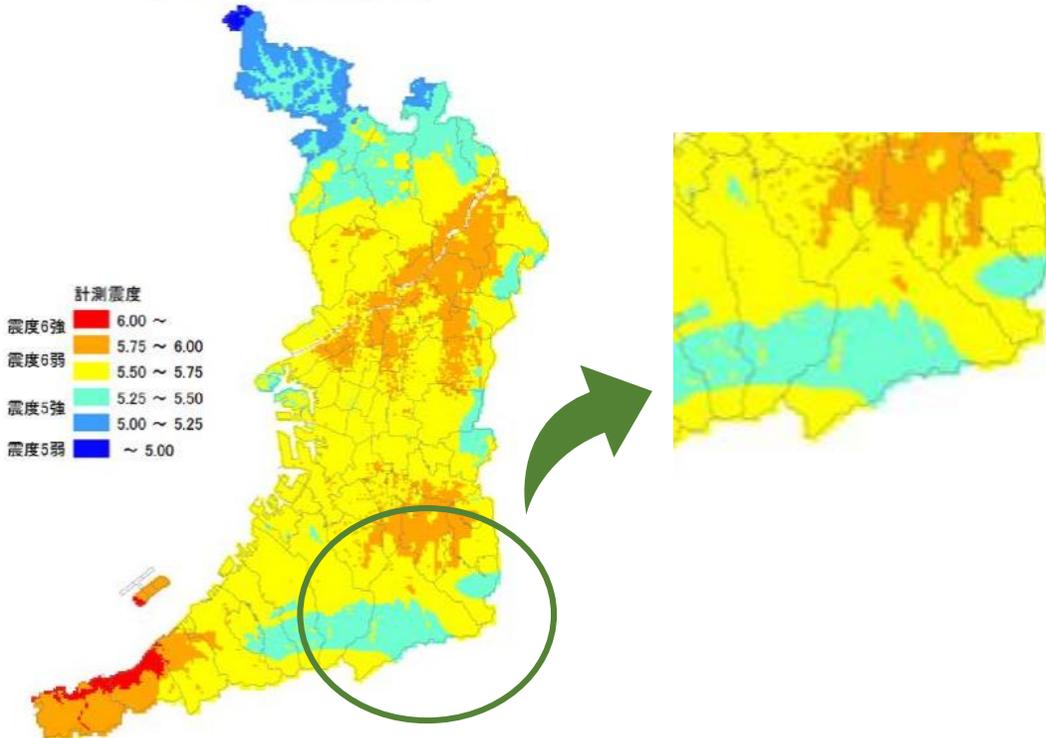
(資料)国土交通省「住宅・土地統計調査」

# #地盤が固い

河内長野の地盤は、もともと固い山地が川の流れによって削られてできた河岸段丘なので強く、「強い地盤」ランキングでは、大阪府内でダントツの最高スコアです。また、南海トラフの震度予想でも比較的揺れが少ない地域であることがわかります。

## 南海トラフ巨大地震発生時の震度予想

【大阪府 計測震度】



(出典)大阪府 南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会 公表  
「大阪府域の被害想定について(人的被害・建物被害)」

## 強い地盤ランキング (TOP10)

順位	市区町村	スコア
1	河内長野市周辺	92.5
2	富田林市周辺	85.8
3	堺市南区周辺	84.9
4	岸和田市周辺	84.6
5	堺市北区周辺	84.4
6	大阪狭山市周辺	83.4
7	和泉市周辺	82.1
8	貝塚市周辺	81.7
9	泉南郡熊取町周辺	80.9
10	堺市中区周辺	80.6

(出典)週刊ポスト2020年12月25日号「大阪府「強い地盤」ランキング」  
※地盤ネットホールディングス株式会社提供「地盤カルテ」より週刊ポスト作成

# # 犯罪発生率



河内長野は、大阪府内の市の中でトップレベルに安全・安心なまちで有名です。  
他の市と犯罪発生率の低さ※を比べると、  
10年平均でダントツの1位、過去10年間では7回も1位、直近2年間も1位、ずっと安全・安心が続いています。

## 他市との比較 ※町村を除く。

【過去10年間（2014-2023）の犯罪発生率の平均（低い順）】

順位	10年平均	犯罪発生率
1	河内長野市	450
2	交野市	476
3	阪南市	538
4	枚方市	540
5	箕面市	563
6	柏原市	577
7	高槻市	596
8	大阪狭山市	605
9	吹田市	607
10	豊中市	620
11	富田林市	637
⋮	⋮	⋮

【過去10年間（2015-2024）の河内長野の大阪府内での順位】  
（犯罪発生率の低さの順位）

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
順位	1位	3位	1位	2位	1位	1位	1位	2位	1位	1位

【直近2年の大阪府内TOP5順位】  
（犯罪発生率の低さの順位）

順位	2024年	犯罪発生率	2023年	犯罪発生率
1	河内長野市	398	河内長野市	369
2	交野市	437	大阪狭山市	374
3	枚方市	472	枚方市	431
4	阪南市	480	阪南市	454
5	羽曳野市	481	交野市	454

（注）犯罪発生率とは、人口10万人あたりの全刑法犯認知件数

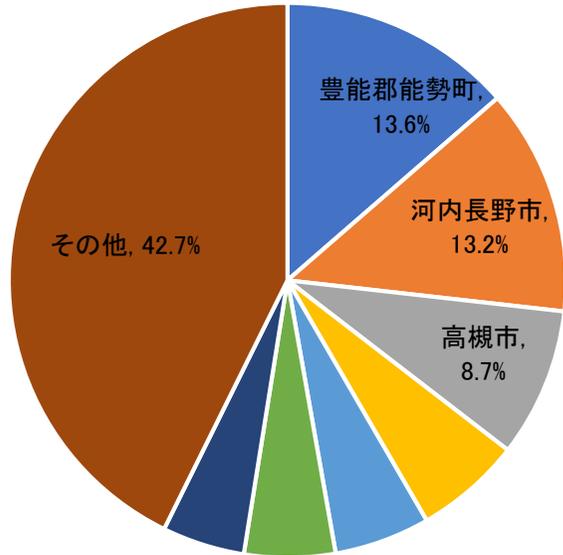
# # 森林面積67% ←

河内長野は、市域を森林が占める割合が67%もあり、自然豊かなまちです。  
大阪府内では、町村を除く市の中で、最も森林の面積が広く、みどりを近くに感じて暮らすことができます。

また、河内長野で生産される木材は、「おおさか河内材」ブランドとして大切に育てられています。  
独特の木目のきめの細かさや、ほんのりピンクがかかった木肌の美しさが特徴で、粘りがあり丈夫な良質材です。

## 他都市との比較

【大阪府内での森林面積のシェア率】



- 豊能郡能勢町
- 河内長野市
- 高槻市
- 泉南郡岬町
- 和泉市
- 千早赤阪村
- 茨木市
- その他



(資料) 総務省による統計ダッシュボード

[グラフで見る河内長野市の森林面積は広い？狭い？\(推移グラフと比較\) | GraphToChart\(GTC\)](#)

# # 水質AA # 生物多様性

河内長野を流れる石見川は、大阪府が調査した府内82の河川水域で唯一、その全域で環境基準AA類型に指定されました。AA類型は、特に水質が良好で自然探勝の場としての利用がされていると認められる場合に指定されるもので、これは清流として有名な四万十川と同じ環境類型区分です。山間部では湧水をくめるスポットがあり、自然の恩恵を感じることができます。

また、河内長野の森林には、たくさんの生き物が生息しており、森林生態系を支える根幹となっていることから、生物多様性ホットスポットAランクとして市内のいくつかの地域が選定されています。茅場として管理される岩湧山山頂付近では、一面にススキの草原が広がっており、カヤネズミやカヤキリなど草地性の生き物が見られます。登山道沿いの雑木林では、ミヤマセセリやハルゼミなどの里山性の昆虫も見られ、岩湧寺付近ではムササビが見られます。石川の支流である天見川の上流部は水生昆虫が豊富で、ナベブタムシやミズバチなどが見られるほか、周辺のエノキ林ではオオムラサキも観察できます。また、滝畑ダムに流入する石川の支流ではアカザやマホロバサンショウウオといった希少な水辺の生き物が見られるほか、周辺はクマタカやサシバなど希少猛禽類の生息場所にもなっています。



▲木を登るムササビと木の穴から顔を出すムササビ



▲コガタブチサンショウウオ

# # 人気ランキング

道の駅 奥河内くろまろの郷は、大阪府内で人気No.1です。  
毎日、地元の農家から届く新鮮な野菜が並ぶ直売所、  
地元野菜を中心とした地産地消のビュッフェレストラン、焼き立ての香りが漂うパン工房や、夏には水遊びにBBQまで。  
近くには、植物園や歴史館、木工体験施設もあり、サイクリストをはじめたくさんの方が訪れます。



【大阪府内で人気の道の駅ランキング (TOP 3)】

順位	道の駅
1	道の駅 奥河内くろまろの郷 (河内長野市)
2	道の駅 愛彩ランド (岸和田市)
3	道の駅 しらとりの郷・羽曳野 (羽曳野市)

(出典)ねとらぼ「大阪府で人気の道の駅」ランキングTOP10！1位は「道の駅 奥河内くろまろの郷」【2025年3月版/Google口コミ】  
(<https://nlab.itmedia.co.jp/research/articles/3172998/>)  
※Googleマップに寄せられた「ユーザー評価」「口コミ件数」「価格フィルタ」「評価フィルタ」に基づき著者作成



▲ビュッフェレストラン奥河内



▲むささびパン工房+CAFE



▲JA大阪南農産物直売所  
あすかてくるで河内長野店

# #リサイクル率

河内長野のリサイクル率は、大阪府内で過去、ずーっと1位でした。  
市民の意識が、今も高いリサイクル率を保っており、環境にもやさしいまちだとわかります。  
実は、10年間のリサイクル率を平均すると、なんとこれも大阪府内で1位。みんなで力を合わせて1位を取り戻しましょう！

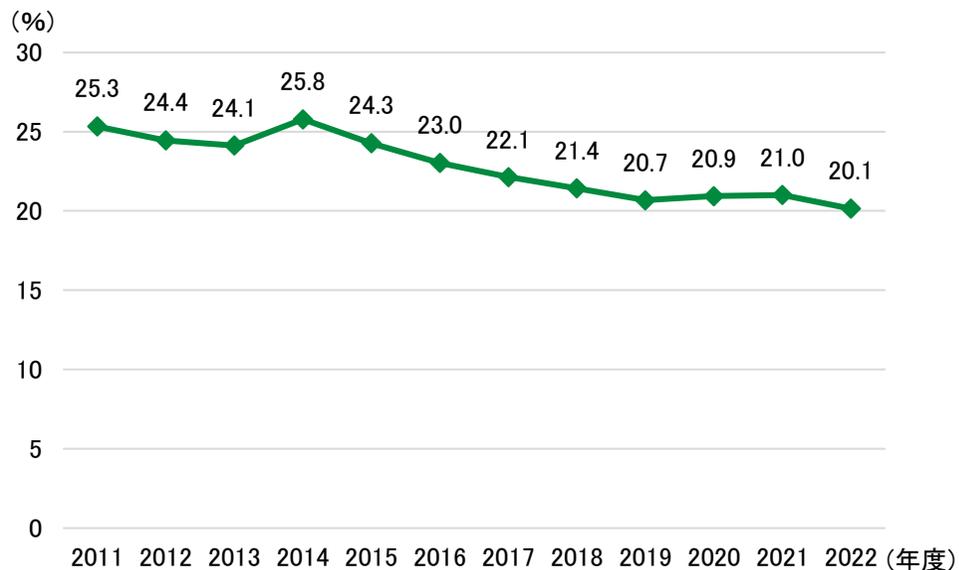
## 他市との比較 ※町村を除く。

【過去10年間（2013-2022）の河内長野の大阪府内での順位】  
（リサイクル率の高さの順位）

年度	順位	リサイクル率
2022	3位	20.1
2021	2位	21.0
2020	3位	20.9
2019	3位	20.7
2018	2位	21.4
2017	1位	22.1
2016	1位	23.0
2015	1位	24.3
2014	1位	25.8
2013	1位	24.1
⋮	⋮	⋮

## 河内長野の状況

【リサイクル率の推移】



（資料）環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

（注）リサイクル率とは、1年間のごみの排出総量に対し、リサイクルされた量の割合

# # 世代を超えたつながり

第6次総合計画の参考とするために行った市民対象のアンケートやワークショップで、優しい人が多かったり、人とのつながりが深いところが河内長野のいいところという声をたくさん聞いています。

また、同じく総合計画の審議会でも、人とのつながりの心地よさは、10年前よりさらによくなっていると言う委員がたくさんいました。“しぼられない、でもひとりじゃない。”河内長野には、おだやかで心地よいつながりがあります。

## ワークショップやアンケートで出たご意見

### ◆魅力的で活発な人

- 人が優しい。助け合いがある。
- 人が明るい
- 人がまじめ
- こどもが素直
- 40・50代の魅力のある方が多い
- 老人が元気
- おじいちゃん、おばあちゃんがやさしい
- イベントをやる人が多い
- 人材がゆたか
- みんなが楽しんでいる
- 人々がゆったりと生活している

### ◆人とのつながり

- 人のつながりが深い
- 移住者を受け入れてくれる
- 若い人にやさしい
- 何事もやさしく説明してくれる
- ご近所付き合いが良い
- みんながつながりあっている
- 議員さんとの距離が近い
- 市役所職員さんの対応がさわやか
- ボランティア活動が盛ん
- 祭りへの意識が高い

## 審議会で出たご意見

### ◆人とのつながりの心地よさ

- こどもが幸せそう
- こどもがよく挨拶をするようになった
- こどもの見守り活動などで、こどもたちとの会話が増えた
- 地域行事への参加者が増えた
- 学校とのつながりが増えた
- 熱い思いをもった若者が増えた
- 人間関係のストレスが少ない
- 若者が活躍している

# # 千年

遺跡の発掘調査から、河内長野の人口は、中世に爆発的に増えたことがわかっています。  
また、京と高野山を結ぶ街道の中間地にあったことから、たくさんの人が往来していたと考えられています。

千年以上前に建てられた観心寺や天野山金剛寺には、様々な国宝が遺され、たくさんの歴史文化遺産が護り継がれています。



▲観心寺



▲天野山金剛寺



▲延命寺



▲遺跡調査の様子（上原北）

▼中世に多くの集落（緑色の網掛け）ができた（=人口が増えた）ことがわかる年表

	平安時代後半			鎌倉時代		南北朝時代	室町時代	
	10C	11C	12C	13C	14C	15C	16C初	
寺元遺跡 門前集落(第1~5調査区)	■			■	■			
寺元遺跡 子院						■	■	■
鳩原遺跡					■	■		
太井遺跡				■	■	■		
小深地区					■	■		
上原北遺跡				■	■			
三日市遺跡Aグループ	■		■					
三日市遺跡Bグループ	■		■					
三日市遺跡Cグループ			■					
三日市遺跡Dグループ			■	■				
三日市遺跡Eグループ				■	■			
三日市遺跡Fグループ					■	■		
三日市遺跡Gグループ					■			
三日市遺跡Hグループ								
天野山金剛寺 中世集落				■			■	
天野山金剛寺遺跡 境内			■	■	■	■	■	■
大日寺遺跡 中世墓				■	■		■	
大日寺遺跡	■			■	■	■	■	■
大日寺遺跡 中世寺院				■	■	■	■	■
高向遺跡	■		■	■	■			
宮の下遺跡			■	■	■	■		
尾崎遺跡		■			■	■		
ジョウノマエ遺跡				■	■			

千年前 →

# # ふだんの暮らし

河内長野は、千年もの間、人々のかけがえのないふだんの1日1日を積み重ねてきました。  
たくさんの人々がここで、「ふだんの暮らし」を連綿と営み続けています。

河内長野は、これからも“かわらずなが〜くふだんのしあわせ”を守っていきます。



縁側で家族揃って（昭和5年頃）



農作業の光景（昭和27年頃）



だんじり祭り（昭和32年頃）



行商（昭和35年頃）



千代田駅上りホーム  
（昭和41年頃）



つまようじ生産（昭和43年頃）



老人ホーム奉仕（昭和48年頃）



学校給食の様子（平成3年頃）